

平成 26 年第 4 回定例市議会

行政報告

北海道恵庭市

第4回定例会が開催されるにあたりまして、第3回定例会以降における行政執行の主なものについて、その概要を報告いたします。

静岡県藤枝市との
交流について

はじめに、静岡県藤枝市との交流について申し上げます。

10月25日・26日に藤枝市で開催された「第9回ふじえだ産業祭」では、恵庭産の農作物や特産品の販売と観光PRのためのブースを出展するとともに、私共他、市内の経済団体の長が参加し、農商工連携の取組みについての意見交換を行うなど、経済交流を深めることができました。

また、今月3日に開催された「藤枝市制施行60周年記念式典」には副市長が出席、さらに議会からは議員会長が出席され、藤枝市の他、藤枝市と友好都市を締結している都市の関係者とも交流を深めて参りました。

さらに、藤枝市民レベルでの交流につきましては、7月にジュニアサッカーチームが2年連続して来恵し、地元恵庭のチームの子ども達と試合等を通じて親睦を図ったところであります。

今後も、市民交流や民間交流を図るとともに、相互のまちの特性を活かした交流を進めて参ります。

大雨被害に伴う復
旧状況について

次に、大雨被害に伴う復旧状況について申し上げます。

9月11日の未明に発生した集中豪雨から2か月が経過し、被害を受けた施設等におきましては、徐々に復旧作業を進めているところであります。

また、市内に所在する駐屯地の曹友会をはじめ、自衛隊員約300人の方々には、ボランティアとして河川敷地の流木や泥などの除去作業にご協力いただきました。

市といたしましては、今回の大雨に関する検証を実施し災害対策の強

化を図るとともに、スポーツ施設や観光施設など復旧が遅れている施設につきましては、順次、復旧作業を進めて参ります。

なお、別途、このための補正予算案を提案いたしますので、よろしくご審議下さいますようお願い申し上げます。

人事評価制度の進
捗状況について

次に、人事評価制度の進捗状況について申し上げます。

人事評価制度につきましては、平成27年度から本実施を進めるにあたり、本年10月から試行により進めているところであります。

また、10月には、各部の組織目標や職員の業務目標の難易度等に関することを審議する「人事評価調整委員会」を設置したところであり、第1回委員会では組織目標について審議し、第2回委員会では職員が設定した業務目標の難易度について審議いたしました。

今後、職員は業務目標に基づき業務を遂行しますが、来年1月からは評価者による業績評価及び能力評価を行うこととし、試行期間中の検証を行いながら、平成27年度からの本実施に活かして参ります。

第5期恵庭市総合
計画の策定につい
て

次に、第5期恵庭市総合計画の策定について申し上げます。

9月以降、市職員で構成するワーキング部会で、基本計画体系及び基本目標検討シートの素案を作成したところであり、現在、基本構想や基本計画の素案作成を進めております。

また、市民の意見を聴取するため、来月には16歳以上の市民2,000人を対象とした市民意識調査を実施するなど、来年1月の総合計画審議会への基本構想の諮問に向け、作業を進めて参ります。

子育てママ応援バ
スツアー（秋）の開
催について

次に、子育てママ応援バスツアー（秋）の開催について申し上げます。

10月4日に開催しました本年度2回目の子育てママ応援バスツアーは、土曜日ということもありご夫婦での申込みも多く、最終的には17

組46名の参加をいただき、急遽バスを増便して開催いたしました。

アンケートによると、参加者からは大変好評を得ており、恵庭の子育て環境や住環境の良さに直接触れていただくことができ、本市の魅力をアピールすることとなりました。

住居表示の実施について

次に、住居表示の実施について申し上げます。

住居表示に関する法律に基づき、9月14日に柏木町地区市街化区域約41ヘクタールのうち、22ヘクタールについて住居表示を実施いたしました。

実施地区については、町名を「柏木町」から「柏木町1丁目・2丁目・3丁目」に変更し、全体で36街区に分割し整備を行いました。

今後、残りの19ヘクタールについても、住居表示の実施を計画しております。

町内会・自治会への加入促進について

次に、町内会・自治会への加入促進について申し上げます。

昨年5月に、町内会連合会より町内会加入率向上に関する支援の1つとして「集合住宅入居者の加入促進」について要望をいただいておりますが、本年10月、恵庭市町内会連合会、北海道宅地建物取引業協会札幌東支部及び恵庭市の3団体により「恵庭市における町内会・自治会への加入促進に関する協定」を締結いたしました。

このことにより、当支部の会員の所有する不動産について、建物の購入や賃貸に際し、町内会・自治会への加入案内パンフレット配布などの加入促進対策が具体化され、町内会・自治会の加入率向上に大きく寄与するものと考えております。

高齢者世帯等冬の生活支援事業の実

次に、高齢者世帯等冬の生活支援事業の実施について申し上げます。

恵庭市内の家庭用灯油価格は、1リットル当たり100円前後の高値

施について

で推移し、さらには11月から電気料金が値上げされ、これから厳寒期を迎えるにあたり市民生活に大きな影響を及ぼすことが懸念されます。

このことから、昨年度に引き続き、低所得世帯に対し光熱費の一部として、1世帯あたり1万円を助成することといたしました。

助成の対象は約1,800世帯を見込んでおり、別途、このための補正予算案を提案いたしますので、よろしくご審議下さいますようお願い申し上げます。

子ども・子育て支援
事業計画の策定に
ついて

次に、子ども・子育て支援事業計画の策定について申し上げます。

来年4月から開始される子ども・子育て支援新制度の円滑な推進を図るため、10月から11月にかけて保育園をはじめ子育て支援センター、みんなの広場及び地区別会場で計14回の説明会を開催し、合計259名の方々に参加いただき、子育て施策に対する様々な意見交換を行いました。

今後、市民の方々から出された貴重なご意見を参考にしながら、具体的な取組みについて検討して参ります。

相談支援ファイル
の作成について

次に、相談支援ファイルの作成について申し上げます。

障がいや発達に心配のある子どもの成長過程を記録し、相談等に活用することにより保護者の負担軽減を図るため、この度、恵庭市発達支援推進協議会において相談支援ファイル「すくすくサポートファイル」を作成いたしました。

ファイルについては、今後、関係機関を通じ配布いたします。

農業振興について

次に、農業振興について申し上げます。

9月11日の大雨により、農村地区においては稲の倒伏などが見られたものの、大きな被害には至りませんでした。しかし、漁川上流の山間

部を中心とした集中豪雨により、市営牧場では乳用牛への被害はなかったものの、一部で牧草地の土砂が流されるなどの被害が生じ、今後、復旧作業を進める予定であります。

なお、市営牧場につきましては、5月22日に165頭の育成牛が入牧し、10月24日までの156日間にわたり放牧を行い、大きな事故もなく生産者に引き渡すことができました。

雇用対策について

次に、雇用対策について申し上げます。

道内の雇用情勢は、景気の回復傾向から緩やかに持ち直しており、千歳管内における9月末の有効求人倍率は0.73で、昨年9月からの月別の有効求人倍率の中では最も高く、また、千歳管内における来年度卒業予定の高校生についても、9月末の求人倍率が1.48、就職内定率も31.1パーセントで推移するなど、近年になく高い状況にあります。

このような中、さらに求職者の雇用拡大を図るため、10月4日には市内企業を中心とする企業25社の参加を得て、合同企業就職説明会を開催いたしました。

恵み野商店街にぎわい創出環境整備事業について

次に、恵み野商店街にぎわい創出環境整備事業について申し上げます。

本年度は、団地環状通の恵み野郵便局から恵み野交番までの通称「やすらぎストリート」、さらにはバリアフリーを進める特定道路整備事業と時期を合わせ、恵み野2号線の恵み野交番から恵み野動物病院までの通称「花さんぽ通り」において、道路歩道部への照明灯の設置や花壇の改修、さらには駐車スペースの設置などの整備を行っており、残りの恵み野会館までの未整備区間については、来年度に着手し完成させる予定であります。

なお、改修した花壇への樹木や花の植栽については、地元商店会や学生ボランティアが主体的に関わるなど、市民協働による整備が進められ

ております。

観光振興について

次に、観光振興について申し上げます。

まず、本年度の新規事業として実施しました「恵庭溪谷紅葉バスめぐり」事業についてであります。恵庭溪谷の紅葉と滝の織りなす景観を満喫していただくことを目的に、10月10日から13日までの4日間、恵庭駅、恵み野駅、島松駅の3駅を発着とした1日5便のバスを運行し、市内外から延べ523名の方々に参加いただきました。バスのガイド役には、ボランティア「花ガイド」の皆さんに担っていただき、また白扇の滝では「えにわマルシェ」を開催し出店いただくなど、多くの関係者のご協力により実施いたしました。

参加者へのアンケート調査の結果、約9割の方が「満足した」と回答しており、改めて恵庭溪谷の魅力を広く発信する機会になったと考えております。

次に、10月末の市内観光施設の利用状況ですが、主な施設のうち、緑のふるさと森林公園を含む「えにわ湖周辺レクリエーション施設」は、恵庭溪谷に大きな被害をもたらした9月11日の大雨の影響を受けながらも、昨年と比べて1パーセント増の20万8,000人の方々が来訪し、また、「道と川の駅花ロードえにわ」も、利用者が対前年比5パーセント増の82万4,000人を数えたところであります。

このことは、観光情報誌や積極的なパンフレット類の作成配布など幅広いPR活動が功を奏し、各施設の利用率を押し上げたものと考えております。

消防庁舎整備事業 について

次に、消防庁舎整備事業について申し上げます。

消防通信指令施設更新に伴う設置場所の確保等のため、消防庁舎増築・改修工事を実施しておりますが、増築工事が10月1日に完了し、

現在、既設庁舎の改修工事を来月末の完成を目指し進めているところ
あります。

また、これと併せて行っている消防通信指令施設の整備につ
きましては、来年3月からの運用に向け、2月末までに整備を完了する
予定です。

以上、はなはだ簡単ですが第3回定例会以降における行政執行の主な
ものについて、その概要を報告いたしました。

なお、今議会に提案している議案等については、それぞれ上程の都
度説明させていただきますので、よろしくご審議をいただきますよう
お願い申し上げます。